

News Letter

2020.07

Vol. 21

Contents

- 新センター長、新副センター長ごあいさつ
- 健康科学概論 松浦センター長が講義
- 大分県医師キャリアサポートブック発行
- センター移転のお知らせ

ご挨拶

4月よりセンター長に松浦恵子先生、副センター長に中田健先生、立山香織先生の
新体制となりました。



センター長 松浦 恵子
副学長(ダイバーシティ担当)
男女共同参画推進室長
医学生物学講座 教授

女性医療人キャリア支援センターは、お蔭様で5年目がスタートいたしました。働き方改革が求められる中、まだまだ医療人が仕事とワークライフバランスにおいて何らかの問題に直面し、将来への不安を持っている現状があります。医療人のワークライフバランスに向けて何が必要なのか、どうすれば安心して仕事を継続できるのか、離職しないためには、また一時離れていた人がスムーズに復帰できるためにはどんな支援が求められるのかを常に意識し模索してまいりました。そのためにアンケートにご協力いただき、セミナーや交流会、パパの会などを開催してきました。復職する医療人の方々、パパの会に参加して下さる医療人の方々、交流会等に協力して下さる医療人の皆様も増え、とても心強く思っています。心より感謝申し上げます。

昨年度までは副センター長として設立からセンターの運営に関わって参りましたが、このたびセンター長に就任いたしました。2名の若い副センター長(立山先生、中田先生)を迎え、また新しいスタッフ(上田さん)も着任して下さり、新体制の女性医療人キャリア支援センターとなりました。

これからさらに、1人でも多くの声に耳を傾け、次世代の医療人を含め、女性男性関わらず一人でも多くの方のお役に立てるようなセンターを目指してまいります。これからも女性医療人キャリア支援センターへのご支援、ご理解をいただけますようお願いいたします。



副センター長 中田 健
腎臓内科 病院特任助教

この度、女性医療人キャリア支援センター副センター長を拝命しました 腎臓内科の中田健と申します。何卒よろしく願い申し上げます。

何故、女性医療人キャリア支援センターなのに「男性医師」という疑問を持たれる方も多いかと思います。

これは本センターが、性別等に関係なく様々な方が働きやすい職場作り、つまりダイバーシティを目指していることと、松浦センター長はじめ、前任の宮崎さん森本さんが温かく私を迎えてくれたからにほかなりません。

またこれまで、男性医療人パパの会「PENGUINS(ペンギンズ)」の活動を通して、働くパパのワークライフバランスや育児休暇の取得促進などの活動をしてきました。

県外5つの大学や医師会の先進的な取り組みを視察したり、大分県医師会の男女共同参画委員も務めさせていただき、現場の意見を医師会に届けたり、全国的な問題点を会議等で聞いたりしてきました。

大学・大学病院、あるいは医師という職業は、特殊な部分もたくさんあり、女性・子育て中の医師が働き続けることのむつかしさは、多々あるかと思えます。それらの問題が、一朝一夕には解決できないことも多いと思いますが、本センターに寄って頂き、息抜きをして愚痴を聞かせてください。我々は多くの医療人に生の声を届けて頂きたいと思っています。

すぐには解決できないにしても、話を聞いてくれる味方がいるという何らかの支えになるかもしれません。またあなたの声が、未来の誰かを助けることになるかもしれません。是非センターにお寄り頂き、お声を聞かせて下さい。



副センター長 立山 香織
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
病院特任助教

2020年度より、中田先生と一緒に副センター長を務めさせていただきます、立山香織(2003年卒)です。

医学部5年生のとき、ふと思いました。「もし将来、子育てしながら仕事をしたいと思ったとき、どの科を選んででもできるものだろうか。」と。そして医師になり、結婚して子供を授かったとき、嬉しいと同時に自分の医師としてのキャリアは全く見えなくなり不安も覚えました。様々な悩みと併走しつつ、未だ模索中ではありますが、気付けば同じような岐路に立つ後輩たちを暖かく見守る立場となっていました。

私が医師になった頃と変わり、忙しい中でも自然と「ワークライフバランス」を考えた働き方をしている方が男女ともに確実に増えました。働くことについて考えるのは、一つの学問になるくらい難しいテーマであり、「キャリア教育」として大学のカリキュラムにも含まれるようになっていきます。

これまで、本センターでの活動を通して、他の診療科や様々な世代の考え方や働き方を垣間見ることができました。女性医療人キャリア支援センターは、今後も医療に関わるすべての女性、男性へ、ライフステージとキャリアに関する悩みや情報の共有、制度の提案を行える場を提供していきたいと思っております。

レポート

「健康科学概論」で松浦センター長の講義が行われました



医学教育センター 中川幹子教授が担当する『健康科学概論』で当センター長 松浦恵子教授による「医療人の男女共同参画」の講義が行われました。

健康科学概論は、医学部(医学科・看護学科)1年次を対象に「豊かな人間性と生命の尊厳について深い認識を有し、人の命と健康を守る医師・看護師としての職責を自覚する」「キャリアを意識し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する」ことを目的に10回の講義で構成されています。

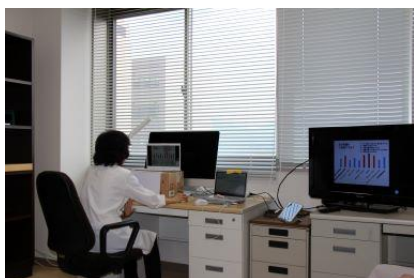
今年はコロナウイルス感染防止対策の影響から、5月からの開催となりました。オンラインでの講義となったため、毎年授業の最後に実施されていたグループ討論、全体発表会は残念ながら取りやめとなりました。

6月12日(金)に行われた今年で5年目となる松浦教授の講座には、163名の学生が参加しました。中には開始1時間前からスタンバイしていた学生もいたそうです。

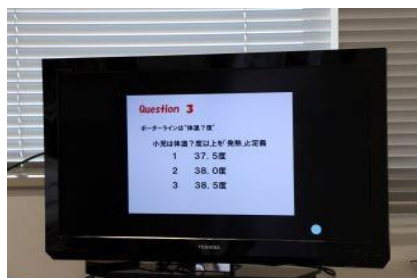
授業は事前に行った意識調査をもとに「男女共同参画」「ワーク・ライフ・バランス」「ポジティブ・アクション」「イクボス」「女性活躍推進法」など、10のキーワードについて話が進められ、その中で大分大学医学部附属病院における当センターや男女共同参画の取組についても紹介されました。

また講義中、moodleを用いて回答する質問が用意されており、3問全てへの回答が必要であるため、参加した163名の学生は最後まで集中した授業となりました。

意識調査の最後に「男女共同参画について思うこと、自身の将来のキャリアについて不安なこと、してほしいこと」に記入されていた意見が紹介されました。「将来、結婚・出産後も仕事を続けたいが、仕事と育児を両立できるか不安」「『男性が手伝う』という概念を排除してほしい」「環境が早く整備されてほしい」など医療の道に進むにあたっての不安や思いから多くの意見があり、1年次からでも将来のビジョンを強く意識していることを知ることができました。



講義中の松浦教授



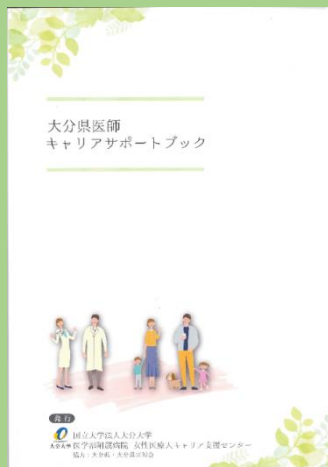
このような質問が予告もなく...

お知らせ

大分県医師キャリアサポートブックを作成しました

昨年度実施した復職支援のアンケートにご協力いただいた県内医療機関および院内のキャリアサポート体制を取りまとめた『大分県医師キャリアサポートブック』を作成いたしました。

ご希望の方は、女性医療人キャリア支援センター(内線5715または carsupport@oita-u.ac.jp)までご連絡ください



女性医療人キャリア支援センター移転のお知らせ

女性医療人キャリア支援センターは、4月より管理棟1階学務課前 男女共同参画推進室内に移転しました

